

平成25年度「まちなか活性化」 におけるアンケート調査報告

平成26年3月

中央区自治協議会
拠点と賑わいのまち部会

平成25年度「まちなか活性化」におけるアンケート調査について

- 1 調査目的 : 中心市街地活性化フォーラムの開催に向け、まちづくりに関わる団体等の取り組みや課題を把握するため
- 2 調査期間 : 平成25年10月31日～11月14日(15日間)
- 3 調査対象 : 中央区のまちづくり団体等
(地元商店街を中心とした団体
NPO法人
町内会・有志による団体)
- 4 調査件数 : 76件
- 5 回答数 : 41件
- 6 回収率 : 54%
- 7 主な調査内容 :
 - ・活動内容
 - ・活動における課題
 - ・協働に対する意見
 - ・フォーラムで希望するテーマ
 - ・その他

※調査団体等の構成規模(団体等に所属する人数)をA～Eで区分した

A ; 51人以上 B ; 50～21人 C ; 20～11人
D ; 10～1人 E ; 不明

2013「まちなか活性化」のためのアンケート結果及び分析

1. アンケート調査への回答(41 団体)

アンケート対象とした団体は、概ね次のように分類される。

(1) 地元商店街を中心とした団体(24 団体)

【地区別】

- ① 古町・本町地区⇒14 団体
- ② 万代地区 ⇒ 3 団体
- ③ 沼垂地区 ⇒ 2 団体
- ④ 新潟駅周辺地区⇒ 3 団体
- ⑤ その他地区 ⇒ 2 団体

【規模別】

- A⇒ 3 団体
- B⇒ 9 団体
- C⇒ 6 団体
- D⇒ 1 団体
- E⇒ 5 団体

(2) NPO(5 団体)

【地区別】

- ① 古町・本町地区⇒3 団体
- ② その他地区 ⇒2 団体

【規模別】

- B⇒ 2 団体
- C⇒ 2 団体
- D⇒ 1 団体

(3) 町内会・有志による団体(12 団体)

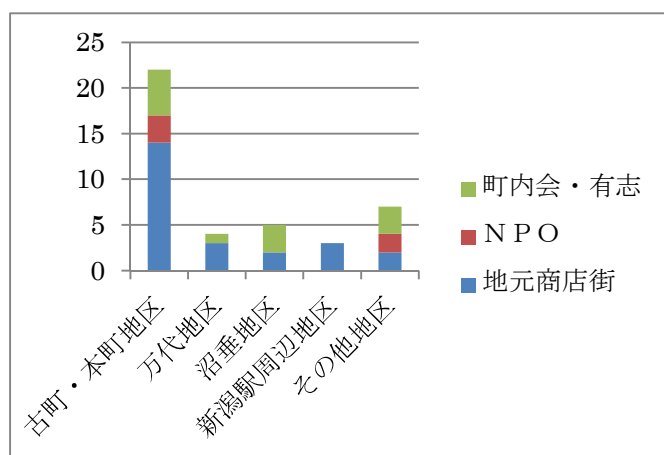
【地区別】

- ① 古町・本町地区⇒ 5 団体
- ② 万代地区 ⇒1 団体
- ③ 沼垂地区 ⇒3 団体
- ④ その他地区 ⇒3 団体

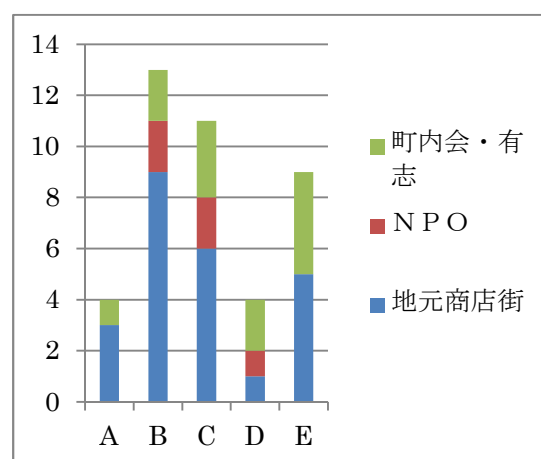
【規模別】

- A⇒ 1 団体
- B⇒ 2 団体
- C⇒ 3 団体
- D⇒ 2 団体
- E⇒ 4 団体

【地区別】



【規模別】



【分 析】

「まちなか活性化」を目的としている各種団体のうち、60%は昔からの中心街であった古町・本町地区の活性化に関わるものである。

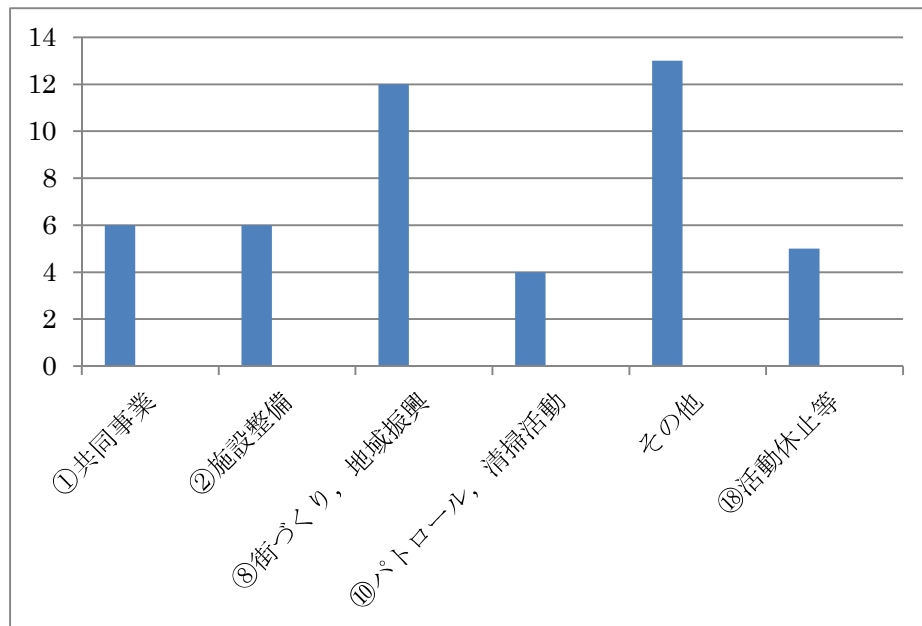
また、活動主体は、商店街、NPO 及び町内会等が主体となっている。

組織規模の面では、B 及び C に属するものが 60%を占めている。

2. 主な活動内容(17 活動項目 : 41 団体) (計 46 件)

主な活動内容としては、次のようなものが挙げられている。

① 会員に必要な共同事業(商品販売等)	6 件
② 利用者の利便性向上のための施設整備	6 件
③ 組合構成員の情報の共有化	1 件
④ まちなか景観づくりに関する研究・提言	1 件
⑤ 空き家・空き店舗対策	1 件
⑥ 独居老人・買い物難民対策	1 件
⑦ フリーマーケット開催	1 件
⑧ 街づくり、まちなか再生、地域振興・活性化	12 件
⑨ 補助金によるイベント開催	1 件
⑩ 安心・安全パトロールの実施、公共用地の清掃活動	4 件
⑪ 通行者調査	1 件
⑫ 市民活動支援センターの運営	1 件
⑬ 社会起業家支援	1 件
⑭ 放置自転車のリサイクル	1 件
⑮ 新潟の歴史遺産を活用した活性化	1 件
⑯ 地域に密着した伝統行事の伝承・運営	1 件
⑰ 市民の手による独自映画館の運営	1 件
⑱ 活動休止中、無回答	5 件



【分 析】

活動項目は、大きく 17 項目に分類され、「商店街の商品販売の拡大に向けた共同事業の展開」、「まちなかの再生・活性化・地域振興」などの街全体を対象とした活動から、「安全・安心パトロール」、「独居老人、買い物難民対策」といった市民ひとり一人の生活に関わるものまで多岐にわたっている。

その中でも、「街づくり、まちなか再生、地域振興」及びそれに関連した「商店街の活性化や施設整備に関するものが、全体の 60%を占めている。

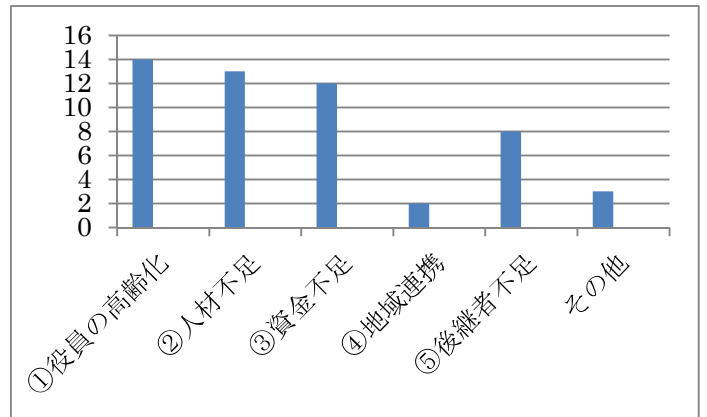
3. 活動上の課題

活動上の課題としては、次のような課題が挙げられている。

(1) 課題 1 (団体等の内的要因にかかる課題)

(52 件)

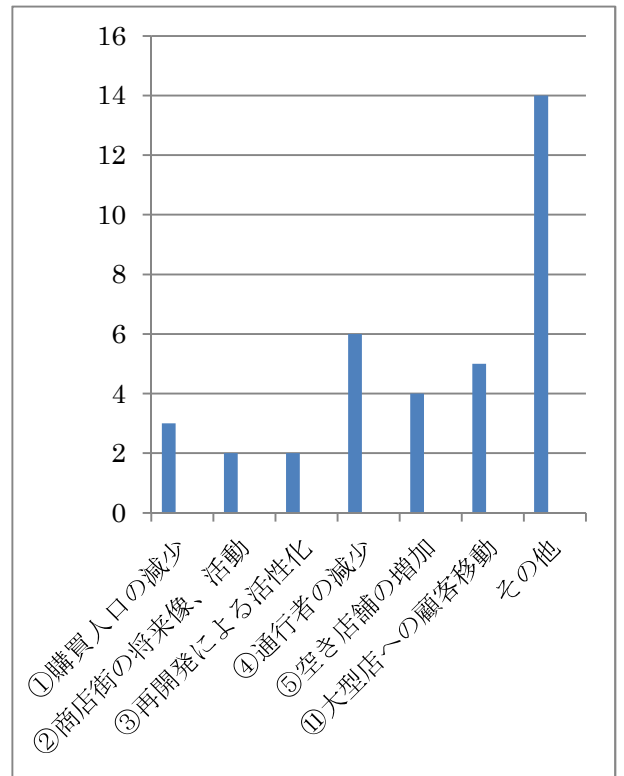
① 役員の高齢化	14 件
② 新規加入者の減・人材不足	13 件
③ 資金不足(運営・活動に支障)	12 件
④ 地域連携	2 件
⑤ 経営者の高齢化・後継者不足	8 件
⑥ 時間的余裕がない	1 件
⑦ 問題なし	2 件



(2) 課題 2 (団体等の外的要因にかかる課題)

(36 件)

① 少子高齢化による購買人口の減少	3 件
② 商店街の将来像、商店街活動	2 件
③ 再開発による活性化	2 件
④ 通行者の減少、住民の減少、高齢化	6 件
⑤ 空き店舗の増加、施設の老朽化	4 件
⑥ BRT との連携による来街者の回遊性向上	1 件
⑦ 日本経済全体の低迷と閉塞感	1 件
⑧ 地域活性化の取組み	1 件
⑨ 水辺創造、歴史遺産の保存・活用	1 件
⑩ マナーの低下	1 件
⑪ 大型店への顧客移動	5 件
⑫ 市域拡大による支援センターの活用	1 件
⑬ 意識改革(過去の繁栄感からの脱却)	1 件
⑭ 独自性の喪失	1 件
⑮ 万代島ルート計画の見直し、早期整備	1 件
⑯ P T A 活動の活性化	1 件
⑰ まちの治安悪化	1 件
⑱ 中心市街地への人が集える場所の設置	1 件
⑲ 助成金制度の充実	1 件
⑳ 市のランドデザインの欠如	1 件



【分 析】

活動上の課題については、課題 1 では「役員の高齢化」、「新規加入者の減・人材不足」、「資金不足」などが全体の 74%を占めている。

また、課題 2 については、「通行者の減少、住民の減少、高齢化」、「大型店への顧客移動」、「空き店舗の増加、施設の老朽化」、「少子高齢化による購買人口の減少」、「商店街の将来像、商店街活

動」、「再開発による活性化」などが全体の61%を占めている。

課題1及び課題2の根底にあるのは、「少子・高齢化」及び「高度成長モデルに基づく街づくり計画・活性化」であることがうかがえる。

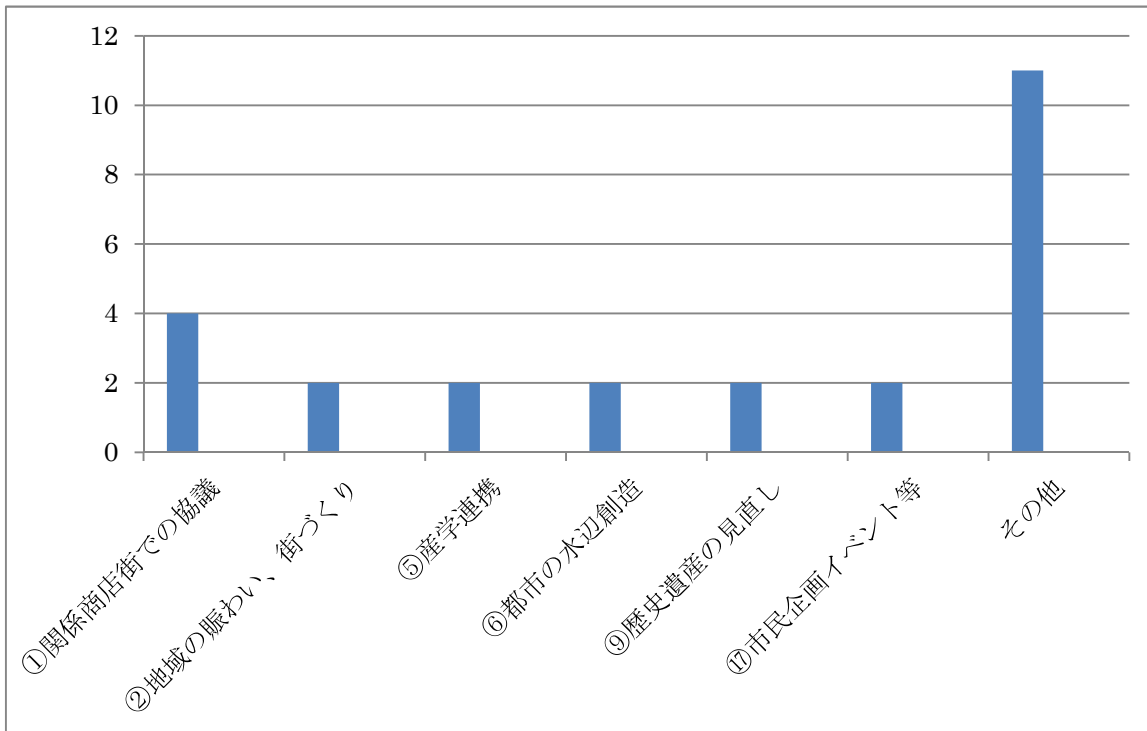
なお、1件ではあるが「市のランドデザインの欠如」が挙げられている。

新たな顧客増の取り組みとして、アーケードの改修やイベントの企画・実施等が挙げられる。

4. 協働に関する意見(25件)

協働に関する意見としては、次のようなものが挙げられている。

① 関係商店街での協議・検討	4件
② 地域の賑わい、街づくり	2件
③ 交通手段別の来街者対策	1件
④ 公共交通の利便性向上	1件
⑤ 産学連携による商店街の活性化	2件
⑥ 都市の水辺創造(市、県、国)	2件
⑦ ITの活用によるコミュニティサイクルの実現	1件
⑧ 地域の協力体制の強化	1件
⑨ 歴史遺産の見直し、表示、紹介(活性化)	2件
⑩ 商業の組織化	1件
⑪ 地域の活性化に向けたDVDの製作・配布	1件
⑫ 発酵食品の県外への販路拡大	1件
⑬ 地区再開発・街路灯等の施設整備	1件
⑭ まちなか路上パーティー等のイベント開催	1件
⑮ 公共施設等の整備計画・立案への参画	1件
⑯ 分散型から集中型都市構想への転換	1件
⑰ 市民企画によるイベント	
「湊にいがたのひな人形町めぐり」等	2件



【分析】

協働に関する意見については、「関係商店街間での連携協議・検討」、「地域の賑わい、街づくり」、「産学連携による商店街の活性化」、「都市の水辺創造」、「歴史遺産の見直し、活性化への活用」等多岐にわたっており、これらの意見の内容を詳細に把握し、具体的な協働施策を進めることにより、潜在的な活力を引き出すことが出来るものと考えられる。

5. 中心市街地活性化フォーラム企画に対する意見

(主なもの)

- ・ 活性化のとり組み事例
- ・ 中心市街地との役割と今後の展望
- ・ 全国のコンパクトシティ推進実績のある方の招へい
- ・ 週休二日制と店の開店との関連
- ・ 「絵に描いた餅」でなくできること
- ・ 商店街活性化をはかったリーダーの講演
- ・ 市民4000人購買状況調査を厳しく見すえた内容
- ・ 中心市街地からの人口流失防止策
- ・ コンパクトシティの取り組み
- ・ 古町と万代の共生、協働

【分 析】

当然のことながら各団体が直面する課題の解決につながる意見であり、フォーラム開催に際しては、今後のまちなか活性化に対するふさわしいテーマ設定を検討していく。